

2026 年度

SGT 活動レポート

My SGT 農業体験講座

～棚田で学ぶ稲作と自然について～

5月1日(金)の朝礼の時間をいただき第1回SGT発表会が行われました。今年度から始まったこのSGTは、MySGTと呼ばれる講座で生徒自身が発表者となり研究や活動の成果を発表する講座です。目まぐるしく変化する社会において入試も多様化しています。SGTも今までは生徒が講義を聞いたり活動に参加したりという形のものを中心でしたが、今年度から生徒の主体性を評価する取り組みとして生徒が講師となり研究の成果を発表する場としてこのようなSGTを設けました。個人研究や部活動での研究、校外での研究を含め、広く学びを促す機会を設けると同時に総合型選抜入試や推薦型入試での自己アピールにつなげていこうとする取り組みです。その第一段として今回は、SGT農業体験講座に参加した中学3年生2名(齊藤優和・内野千起)、高校2年生1名(水野一篤)、高校3年生2名(松岡朔・望月俊輔)の5名の生徒たちに棚田での活動を中心にSGTの魅力について語っていただきました。田に水を引くために沢に設置された取水口を毎年定期的に掃除しなくてはならないこと、育苗箱に種籾を蒔き、ある程度大きくなったら田植えができること、はざ掛け作業のために稲穂の重みに十分耐えられるはざをみんなで力を合わせて作ること、脱穀は足踏み脱穀機を使って行うことのほか、作業本校に入学してから農業体験講座があることは知っていたが、虫が苦手に参加することに躊躇していたが、参加してみると全く気にならなかったことや、農作業の後、みんなで食べるみそ汁が美味しかったこと、そして普段は食べられない旭という品種の米を羽釜で炊いたご飯を食べてその味に感動したことなどを農業体験講座の魅力について4月から11月まで続く農作業体験を振り返ってお話してくれました。座学だけではなく、清沢塾のご指導を受けながら自然の中で学ぶ楽しさについて体育館で聞いていた高校3年生は熱心に耳を傾けてくれました。本講座に参加した生徒たちは、その活動の評価を大学入試の際、提出する書類に記載することができます。次回は7月にSGT教養講座の時間を使い、第2回発表会を実施することが予定されています。お楽しみに。



SGTとは何かについて説明したあとで農業体験講座について紹介しています。



清沢の棚田を管理する清沢塾について説明しています。元静大副学長が始めました。



SGTクイズを盛り込んでくれました。農業体験講座が始まって何年か分かりますか。



4月から始まる田植え前の作業について説明しています。取水口の整備について説明



清沢塾婦人部の方々が毎回作ってくださるみそ汁の美味しさについて語っています。



棚田で栽培しているさまざまな品種について説明しています。



11月のはざかけ作業について説明しています。はざを組み立てるところから始めます。



脱穀作業は、足踏み脱穀機を使います。動かすにはちょっとしたコツが必要です。



清沢の自然について説明しています。モリアオガエルのほか、ほかで滅多に見られない種類の蛙がいます。



秋には猿梨やアケビが実ることを説明しています。その他に野イチゴもみかけます。清沢は自然豊かな

